

男女共同参画社会をめざす

アゼリア



# Azalea

2002/12  
No.28

親子クッキング



特集

私も子どもも「自分探し」



北区イザコ座（女性大学修了生の会）



女性大学講座

『アゼリア』は、区内の男女共同参画の取り組みや区民の声を皆さんにお伝えする情報誌。女性センターで活躍中の区民編集委員の目線で様々な動きを取材し、読者の皆さんと一緒に考え、共に元気になれる誌面づくりをめざしたいと考えています。

今回は、北区女性センター（アゼリアプラネット）や個々の係わりの中での新たな出会いを通して自分らしさに気づき、夢を実現していく「自分探し」について特集しました。

# 特集 私も子どもも「自分探し」

ちょっと聞かせて：自由な時間は増えたけど……

この特集では、女性センターで活躍している区民編集委員の目線で「自分探し」をテーマに男女共同参画社会づくりを考えてみたいと思います。



学校5日制がスタートし、気がつくとも2学期も残り少なくなって、休日をどう過ごして良いか悩んでいるのは子供達だけでなく、私達も同じかも。

「関心があることを探みなさい」という言葉は私達にも返ってくるようで恐ろしい。

さて、あなたのしたいことって何でしょう？

（日頃、区民が感じていることについて小・中学生をもつ保護者に意見を伺い、対談形式にまとめてみました。）

ねえ、学校5日制になって二学期も終わりに近づいてきたけど、どういうふうに過ごしました？

そうよね。やっぱり親に言われて何かやるより、自分でやりたいことを探すようになってというのが本当よね。でも子どもは楽なほうにいきそうで心配。

そうね、うちは夫が土曜日休みだから家族4人で朝寝坊する日になっちゃった。

こらこら、それって親のほうが子どもから自立できていないんじゃないの？ それに親だって自立した時間を過ごせているかしら？

以前はいろいろな区の講座やイベントに出席していたのだけれど、最近は本当に出たいものにしぼってなるべく家にいるようにしているわ。休みが長く感じる。

生活に追われるだけでなく、時間のやりくりをして何かを身に付けようとしていれば、子どもにも伝わると思うのだけど……。

どう過ごそうかと今一番焦りを感じているのは一日中子どもと過ごしているお母さんかも。子どものためのイベントがあってもお弁当作ったり、会場までの送迎は母親が担当していることが多い。どんどん母親の役割が増えてきたみたいで……。

そうね。自分のやりたいことないのに人にやれっていうのもね。

娘は、やることなくつまらないって。私も子どもの様子が気になるわ。夫のほうはそんなに気にしていないように感じるけど。

自分が何かしていれば、子どもが何かしたいときにアドバイスできるし、話ができるかも。

勉強しなさいって声かけるだけでなく、いろんなところへ行って勉強して、そこの話でもしようかな。

自分のしたいことをしてきたように思うけれど、本当にそうだったのかしら？ 私が確かに言えることって何？

子どもと向き合いながら、心の中にふと疑問符が沸き上がります。私達だって自分がやりたいと思う好きなことをしながらいきいきと生きていきたい……。



## 「北区女性大学受講生の自分探し」あれからどうなりましたか？

昨年5月、平成13年度北区女性大学第10期1部の講師に松田敏子先生をむかえました。松田先生は、社会学・女性学の立場から子育て中の区民に自分の生き方について、また社会参画についての講義をされました（テーマ：「変容する家族の中で」区民14名参加）。毎回、講義の最後には先生の巧みなリードのもとに話し合いが行われ、受講生は単なるおしゃべりでない場を持ちました。あれから1年、受講生は今どうしているのでしょうか。

### 「自分自身を考えるきっかけになりました」



杉田 照子さん  
(北区浮間在住)

杉田さんには中三、中一、小一の男の子がいます。子ども好きな杉田さんは、共働き世帯が増えつつある現在、親と子どものかわりはどうしていけばよいのか？ 家族はどのようにあるべきなのか、日頃から疑問を感じていました。

しかし、そんなときみつけたこの講座のおかげで、まず自分自身が家庭での自分の役割にとらわれて動けずにいることに気がつきました。受講後、杉田さんはさっそく北区ファミリーサポートセンター事業に申し込みました。サポート会員になったあと、今は保育士の資格をとろうと目下奮闘しています。

「ちょうどいろいろなことで家庭の節目だった時期に女性大学を受講し、自分も昔ながらの育てられ方だったので、学んだことは、かなり刺激になりました」。

受講後しばらくは、講座で出た話題を夫婦で話し、時には議論になることもありました。「今後は教わったことと、家族と子どもの本当のかわりとは何かを考えながらよりよい保育士をめざしていきたい」と語って下さいました。

（注）ファミリーサポート事業  
保護者が病気や自分の都合などで育児ができないとき、サポート会員が保護者に代わって育児を支援する助け合い事業のこと。

### 「自分らしく生きるには自立が大前提」



齊藤 久子さん  
(北区岸町在住)

結婚後からずっと夫の会社で経理を任されていた齊藤さん。経済的には自立していたけれど、以前は自分の買物も夫に相談してから、ということも多く精神的に自立しているとは言えなかったとのこと。

講座に参加して、ジェンダー、男女共同参画社会について学んでからはそれまで遠慮しがちだったことも徐々に自分の判断で、行動に移すことができてきたそうです。

経理の他に、3年前からコーチング（人の持っている能力や可能性を引き出すためのコミュニケーション）を学び、現在は共に学んできた仲間とNPO法人を設立。それぞれの知識や経験を社会に役立てようと活動を始めたそうです。忙しい齊藤さんを見ていた家族も積極的に家事に関わってくれているとのこと。

最大の成果は「自分らしく生きるには自立が大前提であると学んだこと」と話して下さいました。支えてくれる家族に感謝しつつ、自分らしくいきいきと日々を全力疾走中です。

## 女性相談

ひとりで悩んでいませんか？まずは気軽にお電話ください。  
あなたと一緒に考え、解決の道を探るお手伝いをします。

	相 談 日 時	相 談 日 時	相 談 内 容
心の相談	毎週水曜日 午後3時～7時 毎週金曜日 午後1時～5時	女性専門相談員	女性が抱えている悩みを、問題の解決に向けて一緒に考えます。 ◇ 事前に電話予約 03-3913-0161
法律相談	毎月第一土曜日（原則） 午前9時30分～12時30分	女性弁護士	あらゆる法律相談について。 ◇ 事前に電話予約 03-3913-0161
体の相談	2ヶ月に1回 （日時は北区ニュースに掲載）	女性産婦人科 医師	体に関する悩みについて相談。 ◇ 事前に電話予約 03-3913-0161

## DV 電話相談

暴力をふるわれた。ひどい言葉でのしられた。そんなことがあったら一人で悩んでいないでとにかく電話してください。

日時：毎週金曜日 午前9時～正午  
相談専用電話：03-3912-9900

専門相談員がお話をお伺いします。秘密は厳守します。



（問い合わせ先）

北区子ども家庭部男女共同参画推進課  
TEL 3908-9307

## 向かいあうことから始まる未来

「男女共同参画」のまちづくり

「第3次北区アゼリアプラン」づくりに皆様のご意見をお聞かせください。

豊かで活力のある、そして誰もが尊重され、自分らしく生きられる、そんな男女共同参画社会の実現が是非とも必要です。

北区では、平成11年に制定された男女共同参画社会基本法をうけ、平成14年6月7日、区長の諮問機関である「北区アゼリアプラン推進区民会議」からプラン改定にむけた提言書が区長に提出されました。

本提言を踏まえ、今後さらに区民の皆様からのご意見を参考にして、プランの改訂を進めていきます。ご意見をお寄せください。

ご意見をおまちしています。



北区子ども家庭部男女共同参画推進課

〒114-8508 北区王子本町1-15-22

電話 3908-9307

fax 3908-6606

メール danjo@kitacity.jp

（企画・編集）

アゼリア区民編集委員

厚美薫・青木伸子・黒沢みれい・山賀幸子・中村昭博

（発行）

北区子ども家庭部男女共同参画推進課

〒114-8508 北区王子本町1-15-22

電話 3908-9307

fax 3908-6606

メール danjo@kitacity.jp

## 編集後記

”アゼリア”がリニューアルしての再スタートです。

「男女共同参画社会をめざして」の基本的理念をモットーに身近な話題を捉える確にお伝えする情報紙でありたいと願っております。

紙面づくりに欠かせない柔軟な姿勢と感性を見失わないように心がけたいと思っています。

—— 師走の頃に ——

（青木）

